

下垣真希
平和のリサイタル2023



今こそ平和の歌を

平和を
永井隆



MAKI SHIMOGAKI

2023 8/5(土)
14:00 開演(13:30 開場)

イタリアの歌劇場で活躍中



Takaki Kurihara
Baritone



Yoshiaki Kitagawa
piano

上部中央は
長崎の鐘の原作者・永井隆博士が
瀕死の床でしたための書
「平和を」

ザコンサートホール
電気文化会館

名古屋市中区栄2丁目2-5 ☎ 052-204-1133
名古屋市営地下鉄東山線・鶴舞線「伏見」駅4番出口より徒歩2分

夏の思い出 / 椰子の実 / 浜辺の歌
さとうきび畑 / 一本の鉛筆 / 長崎の鐘
ふるさと / 千の風になって / ひまわり
島唄★ / マンマ★ / 私は街のなんでも屋★
アメイジング・グレイス ほか

★バリトンソロ ※曲目は変更される場合がございます。

全席指定

一般¥5,000 高校生¥2,000 中学生¥1,500 小学生¥1,000

※学生券はクレッシェンド企画でのみ取扱い
※未就学児の入場はご遠慮願います。

チケットお取り扱い

クレッシェンド企画 ☎ 052-938-7011 info@maki-opera.com
愛知芸術文化センター ☎052-972-0430

協賛： Menicon 協力：株式会社 晃菱

下垣 真希 Maki Shimogaki /soprano

- ◇愛知県芸術文化選奨文化賞受賞
- ◇マレーシア政府公認機関AEEFより日本人歌手として初めて文化貢献賞受賞
- ◇ドイツ万博閉幕式でアジア代表として独唱
- ◇国内外で日本の歌の美しさや命と平和の尊さを伝えるコンサートを開催



- 愛知県立芸術大学卒業後、ロータリー国際財団の奨学生として西ドイツに留学。ドイツ国家声楽教授資格を取得しケルン国立音楽大学を卒業。
- アジア代表としてドイツ万博閉幕式で独唱。愛・地球博でもソロコンサートを開催。国内外で日本の歌の魅力を伝えて続けている。
- 叔父を長崎の原爆で亡くしたことや、冷戦時代からベルリンの壁崩壊までの歴史的激動期にドイツ国際ラジオ局でDJとして活躍した体験もふまえ、命と平和の尊さを伝えるコンサート活動を全国で展開。全国平和首長会議やユネスコ協会の記念式典、「長崎の鐘」の原作者・永井隆博士生誕100年記念などでも平和のコンサートを開催した。

- 2008年には愛知県芸術文化選奨文化賞を受賞。2019年には日本人歌手として初めてマレーシア政府公認機関AEEFより文化貢献賞を受賞。
- 今までに7枚のCDをリリース。2020年には「西ドイツ留学記」「ベルリンの壁崩壊物語」「わが心の歌 長崎の鐘」を取めたCD付の自叙伝を出版。
- コンサート活動のかたわら、名城大学でドイツ語を、また同大学院で多文化共生論の教鞭をとっている。
- メニコン芸術文化記念財団理事、きずな育英基金理事、愛知県教育スポーツ振興財団評議員、島根県の「遣島使」や下呂温泉ふるさと観光大使を務める。CBCクラブ会員。
<https://maki-opera.com>

栗原 峻希 Takaki Kurihara /baritone

- 東京藝術大学卒業、同大学院オペラ専攻修了。
- 第47回イタリア声楽コンクール第一位、メディチ国際音楽コンクール第二位など国内外の声楽コンクールで優秀な成績を収める。
- 文化庁新進芸術家海外研修生、ローム・ミュージックファンデーション奨学生。
- ベルリン・コーミッシェ・オーパー研修場、ウィーン国立歌劇場研修場ファイナリスト。現在、イタリア三大歌劇場であるサンカルロ歌劇場の研修生として研鑽を積んでいる。

北川 美晃 Yoshiaki Kitagawa /piano

- 東京音楽大学卒業。愛知県立芸術大学大学院修了。
- 主に伴奏ピアニストとして活躍。下垣真希や世界的二胡奏者のジャー・バンファンをはじめ、多くの演奏家の国内外でのリサイタル、コンサートなどでクラシックとポピュラーの両ジャンルを弾きこなすピアニストとして舞台上に立っている。またNHK文化センター名古屋教室で音楽講座を担当。
- 中部大学非常勤講師。
<https://kitagawayoshiaki.wixsite.com/piano>

CDのご案内

平和を

命と平和の尊さを歌う



長崎の鐘	ああモンテンルパの夜はふけて
一本の鉛筆	埴生の宿
ふるさと	あの子(永井隆 作詞/下垣真希 作曲)
惜別の歌	アメイジング・グレイス
さとうきび畑	どこかに
千の風になって	花～すべての人の心に花を

ほか

ジャー・バンファン
下垣 真希(歌・企画)/賈 鵬芳(二胡)
崎山 弥生(ヴァイオリン)/北川 美晃(ピアノ・編曲)

全17曲 ¥3,150(税込)

聞き終わって深い感動を感じる至誠の歌唱

CD ジャーナル

平和への祈りを切々と綴る「ヒロシマの祈り」や「一本の鉛筆」に加え、日本人の心の琴線に触れる歌を選んだ録音。永井博士の詩に自ら曲を付けた「あの子」でのしみじみとした表現にこうべを垂れる。聞き終わって深い感動を感じる至誠の歌唱である。

懐かしくてどこか新鮮/月刊ぶらあほ

懐かしくてどこか新鮮。これらの歌たちに託されたメッセージを真摯に受け止めたい。